

事務事業名	芦安支所財産管理事業		所属部局	市民部	単位番号	4138																								
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	芦安窓口サービスセンター	課長名	伊東 仁																								
			所属担当	窓口サービス担当	担当者名	五味 正寿																								
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 01 一般	名称 02	項目 01 10	細目 040 02																							
政策	計画体系	21 窓口サービスの拡充	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金																										
施策	34 窓口サービスの向上	法令根拠		南アルプス市支所設置条例・施行規則																										
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)																													
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)																										
	○窓口サービスセンター設備の維持管理 ○公用車の維持管理 ○関連施設等の清掃(草刈)等の業務			<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品</td> <td>49</td> <td>施設維持管理委託料</td> <td>388</td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td>117</td> <td>使用料</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>2,142</td> <td>その他工事請負費</td> <td>1,070</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>481</td> <td>その他</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>427</td> <td>計</td> <td>4,941</td> </tr> </tbody> </table>				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	消耗品	49	施設維持管理委託料	388	燃料費	117	使用料	42	光熱水費	2,142	その他工事請負費	1,070	修繕料	481	その他	225	手数料	427	計
項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																											
消耗品	49	施設維持管理委託料	388																											
燃料費	117	使用料	42																											
光熱水費	2,142	その他工事請負費	1,070																											
修繕料	481	その他	225																											
手数料	427	計	4,941																											

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 芦安庁舎の設備管理、公用車管理、関連施設等の清掃管理を継続して実施する。 27年度活動予定 老朽化した芦安庁舎の設備管理、公用車管理、関連施設等の管理を、必要最小限の予算で継続して行う。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 支所の維持管理経費</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>イ 公用車維持管理経費</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>ウ 来庁者数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 支所の維持管理経費	千円	イ 公用車維持管理経費	千円	ウ 来庁者数	人
名称	単位											
ア 支所の維持管理経費	千円											
イ 公用車維持管理経費	千円											
ウ 来庁者数	人											
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	① 施設 ② 公用車 ③ 来庁者	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 管理施設、設備数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ 公用車台数</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>ウ 来庁者数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 管理施設、設備数	件	イ 公用車台数	台	ウ 来庁者数	人
名称	単位											
ア 管理施設、設備数	件											
イ 公用車台数	台											
ウ 来庁者数	人											
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	施設を市民に利用しやすく、良好な行政サービスを提供する。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 施設に対する利用者の苦情件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 施設に対する利用者の苦情件数	件	イ		ウ	
名称	単位											
ア 施設に対する利用者の苦情件数	件											
イ												
ウ												
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	施設及び公用車を適正に管理し、効率化を図ることで財政の健全化に寄与する。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 窓口サービスセンターを利用しやすいと感じる市民</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 窓口サービスセンターを利用しやすいと感じる市民	%	イ			
名称	単位											
ア 窓口サービスセンターを利用しやすいと感じる市民	%											
イ												

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	317	269	305	327	300	300	
		一般財源	千円	2,613	2,960	4,636	3,113	3,200	3,200	
		事業費計(A)	千円	2,930	3,229	4,941	3,440	3,500	3,500	
人件費	コスト	正規職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3	
		延べ業務時間	時間	120	120	120	120	120	120	
		人件費計(B)	千円	546	546	546	546	546	546	0
		(A)+(B)	千円	3,476	3,775	5,487	3,986	4,046	4,046	0
活動指標	ア	千円	2,581.0	3,182.0	4,596.0	3,223.0	3,200.0	3,200.0		
	イ	千円	349.0	47.0	345.0	217.0	300.0	300.0		
対象指標	ア	件	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	イ	台	4.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
	ウ	人	397.0	655.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0		
成果指標	ア	件	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	イ									
上位成果指標	ア	%								
イ										

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年4月の町村合併時に、庁舎等の維持管理を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	合併当時は、4課1事業所体制でスタートしたが、平成17年及び20年に機構改革により現在は、1課1担当となり職員数も減少となった。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	庁舎等の安全確保の観点から、必要な事業である。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	・予算を見直し必要最低限の予算編成を行った。 ・H22年度公用車(7台管理) H23年度公用車(4台管理) H25年度以降公用車(3台管理)
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	・ベレットストーブを活用し、節電の徹底を図った。 ・老朽化した施設を必要最小限の経費により維持管理した。

事務事業名	芦安支所財産管理事業	所属部	市民部	所属課	芦安窓口サービスセンター
-------	------------	-----	-----	-----	--------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 必要最小限の予算で施設管理を適正に行い、快適な環境施設において窓口サービスの提供を図ることができる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 庁舎等の安全確保は行政として重要である。そのために市が関与するのは妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 芦安地区は遠隔地であり直接、行政サービスの低下に繋がるため、維持・継続は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 施設が老朽化していることから、必要最小限での施設の維持・持続が必要である。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 芦安地区は遠隔地であり、他の窓口サービスセンターとの統合は、住民サービスの低下につながる。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 行政サービスの低下につながる。特に交通手段がない高齢者、障害者において、サービス低下となる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 行政サービスの低下につながる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の経費で施設管理を行っており、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の業務時間であり、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市の財産の維持管理を行うため、妥当である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	限られた予算の中、節電に努め適正な維持管理を図った。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 必要最小限の経費において、施設管理を継続する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 窓口サービスの低下とならないよう、施設維持管理を継続して行う。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑫																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					